

中東部支部の重点施策を中心に実施事業を報告します。

1 県協会支部としての積極的活動

各種別の県大会の運営について、熱中症対策や落雷事故の防止対策を行いながら、実施することができました。

2 支部の在り方について

各種別の状況が異なる中、中部支部とともに「静岡市サッカー協会」として、「セントラルトレセン」や「サッカーフェス SHIZUOKA2024」や「静岡カップ」などを共同して実施し、互いの協力関係の維持・強化を図りました。

3 普及活動

中東部支部内の4種チームを紹介する「4種マップ」を作成し、清水区内の小学1年生及びこども園等の年長児童全員に配布しました。「キッズサッカーフェスティバル」や「JFA なでしこひろば in ガールズサッカーパーティ 2024」や「しずおか学校訪問プロジェクト」を開催し、未就学児童のキッズ活動の充実と少年チームへの加入促進を図っていきます。

4 競技力・技術力向上

次のチームが全国大会に出場しました。

清水東高・クラーク記念国際高合同チーム

：令和6年度全国高等学校定時制通信制体育大会第34回サッカー大会

清水エスパルスジュニアユース：第39回日本クラブユースサッカー選手権大会（U-15）

清水エスパルスユース：第48回日本クラブユースサッカー選手権大会（U-18）

プロヴァフットサルクラブU-18：JFA 第11回全日本U-18フットサル選手権大会

5 清水エスパルスなどとのホームタウン推進

エスパルスはJ2リーグを優勝し、3季ぶりのJ1復帰を果たしました。

Jリーグ等での応援と、支部内の大会へのエスパルスの協賛・協力等を通じ、引き続き良好な連携が図れました。今後とも良好な相互協力関係を構築していきたいと思えます。

6 競技会運営等

天皇杯全日本サッカー選手権大会2回戦（清水エスパルス vs 三菱重工長崎 SC）と3回戦（清水エスパルス vs 京都サンガ）の2度の運営に取り組みました。2回戦では3,029人、3回戦では4,269人の観客を集め、運営しました。

7 その他

2024年10月9日に「なでしこひろば in ガールズサッカーパーティ 2024」参加者に関する個人情報閲覧可能性事象を発生させてしまいました。合同理事会で「個人情報の取扱い」について、協会役員・幹部間で重要性を共有し、他の方法での個人情報収集に関する注意事項等を含め、会合にて具体的な方策を伝え、今後二度とこのような事態を起こさないよう徹底した管理体制を構築していきます。

令和6年度に役員改選がなされ、大幅な交代が行われました。

これまでご尽力いただきました皆様に心より感謝申し上げますとともに、新たな役員の皆様を加え、当支部が益々積極的に活動を展開することを祈念し、事業報告とします。